

地方制度調査会専門小委員会合併関係ヒアリングについて

秋田県藤里町

1. 合併せず単独運営を選択した理由

(1) 地方自治の本旨・・・住民主体

(2) 県から示された合併の枠組（1市7町村）で担当レベルの勉強会

・・・現在の1市7町村の標準財政規模309億9千万円は今後10年は大丈夫としても、以後類似団体（人口約10万人）に置き換えると141億2千万円で約168億円の減になると思われ、徹底した行財政改革が必要

(3) 単独を考える勉強会

1) 公共施設の完成度

2) 恵まれた自然

3) 高速交通ネットワーク

大館能代空港「北秋田市」まで25分 県都「秋田市」まで1時間30分

4) 伝統文化に根ざした地域

伝統文化に培われた住民性は協調性があり、誇り高いものがある

5) 町有財産

町有林3,097ha

うち人工林1,368ha（大正時代から昭和30・40年代に植栽）

6) 克服すべき課題

(イ) 人口の動き 平成12年4,708人～平成17年4,353人

平成22年3,976人～平成32年3,197人

(ロ) 行政改革

○役場組織をスリム化するための機構改革

○職員の意識改革（人事考査制度等）

○行政サービスの民営化

(ハ) 財政の健全化

徹底した行財政改革

2. 現在、抱えている課題と解決策

課題・・・・・・・・○地方交付税の削減

○主産業である農林業の低迷

○人口の減少

解決策・・・・・・・・○町の資源（世界自然遺産白神山地、農林業、川、伝統文化等）を活用した交流人口の増加

○エコ・ツーリズム、グリーン・ツーリズム事業の実施

3. その他

(1) 主伐30ヶ年計画

町有林の伐採から撫育、植栽までのサイクルを確保

年間10～13haの伐採、植林が可能

(2) 平成22年まで下水道の整備（白神山地の川上の町として）

下水道の加入促進を図るため、水洗化に約72万円の70%を助成（上記の主伐30ヶ年計画の財源から助成）